

講師のご紹介

大塚 笑子 (おおつか・えみこ)

朝の読書推進協議会理事長。

岩手県生まれ。千葉県・元高校教諭。東京女子体育大学卒。

中学・高校と陸上競技（三種競技全国第4位、800m全国第6位）で活躍。その実績を評価され、「暁の超特急」と呼ばれた伝説のスプリンター吉岡隆徳氏にスカウトされ東京女子体育大学へ進学。オリンピックを目指して吉岡氏より直接指導を受けるが、身体の故障により選手生活を断念。1970年、女子高校の体育教師として勤務。

1988年、林公教諭の「朝の読書」理論をいち早く理解し、学校の意見がまとまる前に自分のクラスで実践、大成功を収めて全校一斉への道を開いた。「朝の読書」最初の実践者。現在は「朝の読書」提唱者として運動の全国展開に取り組んでいる。

2000年、永年の「朝の読書」運動が評価され、「平成12年度（第30回）野間読書推進賞子ども読書年記念特別賞」、2001年「第35回新風賞特別賞」、2003年「社会貢献者表彰」、2007年「第1回高橋松之助記念朝の読書大賞特別賞」を受賞。

特技・日本舞踊（特師範の資格を持つ）。

著書に、『朝の読書 はじめの一步』『朝の読書 希望への一步』（いずれもメディアパル刊）がある。

本浄 敏之 (ほんじょう・としゆき)

徳島県生まれ。

昭和39年徳島県立高校の保健体育の教諭となり、徳島県教育委員会指導主事、東四国国体局競技式典課主幹等を歴任。平成10年から3年間徳島県立板野高等学校長を勤めた。退職後、地元の徳島県上板町教育長等を歴任。現在、地元の子育てボランティア団体の代表として子育て支援活動中。

板野高校長在任中の平成10年産経新聞の朝の読書の記事に出会い、約1年間の準備の上、徳島県の県立高校としてはじめて朝の読書を始めた。平成12年に、徳島県朝の読書実践研究会を設立し、世話人代表として「全国縦断徳島交流会」を開催した。その際、大塚笑子先生と出会い「交流会継続すべし」の一喝をいただき、徳島交流会を毎年開催（本年12回目を開催）している。

朝の読書全国縦断奈良県交流会 参加申込書

記入日 年 月 日

所属の学校・ 団体等	名称			
	住所	〒		
	TEL		FAX	
	Mail			
参加者ご芳名		所属・役職名	参加者ご芳名	所属・役職名

※連絡先にご自宅をご希望の場合は下欄にもご記入下さい。

自宅	住所	〒		
	TEL		FAX	
	Mail			

●参加の動機・目的、お知りになりたいこと、ご質問等をご記入ください。

--

参加票はFAXにてお送りします。郵送ご希望の方は右の欄に○印をご記入下さい。

参加票郵送希望

お申込みFAX 送信先 **03-5225-9722**

社団法人 全国出版協会
朝の読書全国縦断交流会事務局